

9880

電子複写不可

原本史料

電報綴

自昭和二十年三月
至昭和二十年四月

南西諸島 其の四

防衛研究所 戦史室



④
電報
19

昭和
二十年
三月
四月

5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34

四二一 受信 〇〇四二 〇〇四二 〇〇四五 電一二二五四 際通

作戰緊急

停

一 機動基地航空部隊

喜界航空基地

機密第二〇二二〇〇香電

4

電話傍受ニ依レバ二一四五空母一隻沖繩ヨリノ距離三一〇〇在リ
「ロジヤース」ノ名ヲ使用シツツアリ今夜近接ニハ赤燈ヲ點スル様夜
間ニ對シ命ゼリニニ〇〇。

道一二八E八 於一五(三九三七五K)一K P C B 放 日高(様) 澤)

4-20.21

作取緊急

四 二〇 受信二三五二二
二二 開始〇〇二二二
了〇〇四八 電一二三四二

航作本。參檢本



第一機動基地航空部隊
五基地空部隊。六航軍派遣通信隊
大本營海軍部

機密第二〇二二三二番電

發 聯合艦隊參謀長

宛 六 航 軍

二十一日〇二〇〇夜間暗戒機敵機動部隊ヲ補担セザレバ第四次航空總攻撃ヲ二十二日ニ線下ゲラルル豫定。

通一二八二四 呂一B一三九三七、五KC一KFGB放 佐藤(吉) 田

四 一 受信 〇六〇五 譯了 〇九一〇 電一 一五二六 作概 〇

至 急

傍

● 天一號作戰部隊

● 沖根

機密第二一〇四一八番電 二分ノ一

球情報 (二十日二三三〇)

北方陸正面ノ敵ハ二十日朝來攻撃ヲ再斷其ノ意點ハ西海岸方面ニ
指向セラレアルモノノ如ク該方面ノ敵ハ激烈ナル砲爆撃ニ掃蕩セラ
レ海川岫ハ九高地伊祖ニ逼出我ハ島嶼ニ反響中ナリ牧港方面ニ於
テハ

● 電信課註 本電二分ノ一未着

第一一九三五 色一〇ケ七 (三七三〇比) 沖根 養生 (三石)

至急



● 第一號作戰部隊

● 沖繩方面特根

開始 〇〇八二五六 了 〇九二五 電 一二〇八一・作概〇

機密第二一〇四一八番電 二分止

○六〇〇道迫撃砲ヲ有ス神津島ノ敵ハ水陸兩用戰車及同舟艇各一トテ以テ上陸シ一二〇〇 二九・四高地(城間東方五〇〇米)附近ニテ激戰中ナリ。

(電信課註 本電二分ノ一既配布)

(東通註 本電神津島ハ阿久根ニ誤檢シ得)

通一二九四四 呂一B七七(夫七七K) 佐二放 鈴木(榛澤)

4-21

4

昭和廿年四月廿三日

四二一 受信 〇〇七四三
開始 〇八三〇三 終了 〇八五五
電一四〇二 作

至急



● 天一號作戰部隊

● 沖根

機密第二一〇六〇九番電

發 聯合艦隊參謀

機密第二一〇一一九補電中飛行場火災ニケ所ハ約三〇分一ケ所ハ約
一時間炎上セリ。

通一二九四五 呂一Bケ七(九八三〇K)佐二放 吉村(細川)

0842

5



急

一機動基地航空部隊戰國機報着信監所
出水航空基地

機密第二一〇六一〇番電二分ノ二二

出水部隊戰國機報第三號 (四月二十一日)

四月二十日一八四六情報 九六式陸攻七機沖黑島周邊ノ敵艦艇夜間

雷聲ヲ企圖基地發進

三内二機各計器故障及投下器故障ノ爲引返ス其ノ外何レモ二二〇〇戰

場到達一機二二五〇頃飛行場爆撃二機夜間雷聲實施セルモノノ如キ

モ未歸還一機 實施他ノ一機ハ歸投時兩翼被彈ノ爲機信ヲ失ヒ強

行不時着(位置不明) 伊江島古仁屋ニテ夜戰ニ遭遇セルモノ二機ア

ル一機ハ熾烈ナル銃砲火ヲ受ク

三戰果不明
四被害二機未歸還一機不時着一機被彈一機着陸時中破

一東通註 本電誤字多キ爲遲延

通 一三九八九 日一八ケ七(七八七五)IC(一KFGB放 小林(小林)

0844

4-21 47 36

作戰緊急



開始一三五〇〇 請于一四四〇 電二一五七九 概〇

共 符

●● 作戰關係重要電報。第一潜水部隊、大本營海軍部・東通・聯合艦隊司令部・聯合艦隊各口口、各鎮・各營・沖根口。

機密第二一〇九四五番電

先遣部隊電令作第六七號

伊號第七潜水艦ハ沖繩本島南端ト「ウルシ島」「バラオ」ヲ連ナル
線ハ沖繩本島ヨリ概ネ二五〇哩ノ地點附近伊號第三六潜水艦ハ沖繩本
島南端ト「マリアナ」トヲ連ナル線ハ沖繩本島ヨリ概ネ三〇〇哩附
近ノ地點附近ニ進出補給船ノ攻撃並ニ敵敗殘部隊ヲ捕促擊滅ニ任ズ
ベシ。

通一二二二七 口一〇七五二九五〇二六日放 補示(小)

四二一
作 戰 緊 急

受 信 一 二 三 二 五

長 丁 一 三 二 〇

電 一 一 五 五 二

作 概



淡 水 空 基 地



古 仁 屋 空 基 地

機 密 第 二 一 〇 九 四 七 番 電

六三四空古仁屋派遣戰團概報第一二號（四月二十日）

一 環 雲 一 機 二 三 二 〇 發 進 〇 〇 二 〇 頃 發 動 機 不 關 ノ 爲 反 轉 歸 途 ニ 就 キ タ

九 時 與 險 島 ノ 北 一 〇 哩 南 東 進 スル 大 型 驅 逐 艦 二 隻 ヲ 發 見 二 番 機 ヲ 爆

破 (二 五 番 一) 〇 一 一 五 歸 着

二 戰 果 大 型 驅 逐 艦 一 隻 轟 沈 確 實

三 被 害 防 禦 砲 火 ヲ 認 メ タ 檢 査 ナ シ

四 可 動 機 數 一 機 整 備 中 二 機

通 一 三 一 〇 八

於 十 五 (九 八 三 〇 號) 佐 二 放

山 今 (久 保 田)

J

4~21

緊急

傍

開始一四一五

臺灣航空基地

五基地航空部隊臺灣方面飛行配備
基地
機動基地航空部隊

機密第二二一〇〇六番電

七六五空戰團概報(二十日)

一 銀河三機一式陸攻三機九六式陸攻二機二〇〇〇一三二〇〇沖繩北飛行場爆撃四月二十一日〇九三〇迄ニ判明セル狀況左ノ通

(イ) 飛行場火災ヲ報セルモノ二機戰果不確認ニ機其ノ他未詳

(ロ) 銀河一機葦屋一機宮崎一式陸攻二宮崎着其ノ他〇〇三〇頃以後連絡ナク消息不明

二 本二十一日銀河一機九六式陸攻二機二一〇〇頃飛行場攻撃ノ豫定

通一三一四二

呂一B(十)一一三四六、五K(五)PQB放

日野原(庭田)

9

4-21

四二一
急

受信
始一四三〇二

了
一五五二

自
一一六二二

作
概

新竹空基地



五基地航空部隊戰鬥概報着信機所

機密第一一〇三〇番電 三分ノ二ニ三

第五基地航空部隊戰鬥概報第三〇號(十二日乃至十九日作戰綜合)十二日

十三日臺灣石垣島中間海面出現ノ敵機動部隊ニ對シ十四日以後
官古南方海面ニ策動ヲ續行スル敵空母群(特空母四隻程度)ニ對シ前
後對回ニ互リ零戰及彗星特別攻墜隊ヲ主力トスル當隊兵力ノ主體若ハ
一部ヲ以テ奇襲攻墜ヲ企圖セルモ偵察兵力ノ不足敵艦上機及陸上機ノ
基地制壓ニ依リ發進不如意等ノ爲敵機動部隊ニ對シテハ未ダ所期ノ成
果ヲ與グルニ至ラズ一方沖繩方面敵艦船飛行場攻墜ニ於テハ概テ連夜
夜間攻墜兵力ニ依リ雷爆墜ヲ實施好天ニ惠マレ相當ノ戰果ヲ收ムルコ

一三三
一三三
一三三
一〇九

呂一Bケ十(一一三四七五EG) 五FGB放

山(久保田) (一)

10

124

トヲ得タリ
 出動延滞敵對部隊攻入一沖繩方面攻入五〇索敵偵察一四
 等隊果腹沈巡洋艦五隻 擊破敵艦二隻 除送船三隻 擊破敵艦一隻
 飛行場兩個燬敵機上一四箇所墜陸機四二五 一〇〇五敵艦船飛
 行場等ニ突入攻撃ヲ報告セルモノ一〇
 四被雷未墜一〇自燃三不降着大破一〇地上被爆炎上大被二二
 五二十日現在實動機數零機一四機星天塚山八月光二銀河三 一式
 陸攻五 九六式陸攻五 九九式艦爆三 一式陸
 攻一三機二

四二一 受信一三三八 譯始一四〇五 譯了一四五二 電一一五八五 作 概
 室 急



● 聯合艦隊
 ● 大海參一部・天一號作戰部隊
 ● 六航軍派遣通信隊

機密第二一一〇五七番電

六航軍戰團速報

重爆三機二二三〇北飛行場攻撃炎上一一箇所誘爆六ヶ所重爆一機〇
 〇五〇中飛行場攻撃炎上三箇所殘波岬三四〇度七〇新設船群ヲ認ム
 八飛行團輕爆四機發進内二機二二〇〇北飛行場攻撃戰果確認セズ二
 機引返ヌ北中飛行場ニ於ケル對空射擊極メテ緩漫。

通一二一三三 呂一Bケ七(九八三〇KC)佐二放

廣田(小越)

12

四 二一 受信一四〇七 譯了一四三五 電一一五九九 航作概本〇
作戰特別緊急



- 一機動基地航空部隊天作戰部隊作戰命令着信艦所
- 鹿屋 航空基地

機密第二一一二二二番電

一 一七PGB參謀長

本日午後、作戰豫定左ノ通

一 機動部隊ヲ捕捉セル場合

(1) 夜間哨戒ヲ實施ス

(2) 夜間攻撃隊ノ全力攻撃

二 機動部隊ヲ見ザル場合

(1) 夜間哨戒ヲ實施セズ

(2) 夜間攻撃隊ハ全力ヲ舉ゲ 周邊ノ艦ヲ攻撃ス。

通一三一八四 於一五九八三〇(0) 在二放 島(小澤)

13

4-21

作戰緊急



五基地航空部隊臺灣方面飛行機配備基地

機密第二二一一二二三六番電

二分ノ六二

開始一六二〇

石垣航空基地

二十九日夜戦ノ來襲ナシ十八日終夜在空ハ特異例ト認ム

三敵潜水艦ノ當基地監視並夜戦在空ニ對處スル爲當基地ニ發着スル飛行機ハ航空機ヲ點セズ航空燈又ハ「オリジス」點滅ヲ以テ味方識別

及着陸要求 信號ヲ實施夜設ハ燈數ヲ極減シテ

非常基地使用不可能陸軍自帆飛行場使用可能ノ場合ハ「リクユケ」ト指示ス

四右現地陸軍部隊諒解済 尙陸軍機識別符「ア」

第一三一八四 日一〇ケ七(一三三四七・五〇〇)放 小森・高橋(田中)

14



● 天一號作戦部隊

機密第二一一二五八番電

● 沖繩方面特別根據地除滅謀

本日午前來襲延機六三機 (E B P) 一三十四機 B C O 一、十二機
機 P 六 P 一 十二機 P 四 U 一 五機ニシテ戦闘機ノ數著シク少シ
主トシテ那覇小祿部落津賀山與那原等ヲ銃爆襲ス行動時間平均一時間半
連日攻襲ニ依リ部落ノ家屋殆ド焼失セリ

連一三一四四

呂一Bケ七(七四六〇) 沖根

小林(小) 階

開始二四四七〇

一五三〇

一五九〇

航作本

● 沖 繩 特 根

4-21

四二二 受信 一六〇六 譯了 一八〇〇 電一六六〇 航作概本〇
六四五



● 天一號作戰部隊

● 沖繩根

機密第二二二二五八番電

發 聯合艦隊參謀

本日午前來襲延機六三機 (T B P 一 三四 S B 二〇一 一二

四六四 毒一 一二 P 四 U 五ニシテ戰團機ノ數著シク少) 主トシ

テ那覇 小祿部落 津賀山 與那原等ヲ銃爆撃

行動時間平均一時間半

連日攻撃ニ依リ部落ト謂フ部落ノ家屋殆ド燒失セリ。

通一三二〇〇 呂一B六七 (九一四五K) 高二放 田中 (小野田)

16

大部隊ヲ探知セルモ電信機故障ノ爲0700
ニ至リ初メテ報告セリ0955大艇ノ隣接索敵機
於ニ於ル先端機製造以後連絡切未帰還ニシテ

シテ
0854

○ 大部隊ヲ探知セルモ電信機故障ノ爲0700ニ至リ初メテ報告セリ
○ 九五五大艇ノ隣接索敵機二機ハ先端到達以後連絡ナク未帰還ニシテ
同海面附近機動部隊伏在ノ算大ナルヲ以テB-12九ノ攻撃終了後一
二二五彩雲ヲ以テ列島線南東海面ヲ索敵一四〇〇喜界島南方六〇哩ニ
空母ヲ含ム部隊ヲ発見セリ今夜之ニ對シ夜間攻撃ヲ實施スルト共ニ明
黎明夜戦ヲ以テ索敵攻撃機機動部隊總攻撃實施ノ豫定。

1942年11月
0854

17

新編海軍要務令
海軍省令第一〇九號
昭和十一年四月二十一日

四二一
緊急
受信二〇九二五九
譯了二〇三六
電自一一七二八
作概



● 第一機動基地航空部隊
天作戰部隊戰報着信處所

● 無線艦所用共通符號

機密第二二一五四二番電 七分ノ二二三四五六七

一 K F G B 天戰團概報 (四月二十一日一三〇〇)

二 二十日列島線附近、機動部隊總攻實施、爲一〇〇〇發進、彩雲ヲ以テ
ヲ喜界島、南東海面ヲ索敵セルニ敵ヲ見ズ

三 夜間陸攻飛行艇ヲ以テ東海並ニ南大東島ヲ含ム列島線南東海面廣範圍
ニ直リ索敵ヲ實施〇一〇〇噸沖紅本島南東五〇哩ニ戰艦ヲ含ム數隻ノ

〇一〇〇噸沖紅本島南東五〇哩ニ戰艦ヲ含ム數隻ノ

母一〇七(日)六空
奥山・内田・咲花・傳崎・森・牛澤・林
(木)下(下)

0855

4-21

18

4980 6. 昨20日夜來夜間哨戒実施中大艇110110頃
南大東島ノ北方90哩

水上部隊ヲ發見シタル外〇一〇〇先端到達迄各索敵機共敵ヲ見ズ對
機動部隊總攻撃ヲ二十二日ニ延期セラル

三夜半軍令部情報ニ依ル「マリアナ」ヨリスルB-12九黎明時大暴南九
州方面基地來襲ノ算大ノ報ニ接シ〇五〇〇以後第一警戒配備別法トナ
シ竝ニ被害極限ニ當至ノ策ヲ講ジアリシ處〇五二五頃B-12九六編隊
ヲ都井岬ノ九〇度二三〇軒ニ電波探信機捕捉〇六〇〇ヨリ零戰紫電可
動全勿發進〇六三三ヨリ〇九〇六ノ間ニB-12九約二〇〇機鹿屋笠ノ
原申良鹿兒島國分宮崎ノ南九州基地群全面的ニ來襲主トシテ對飛行機
破壊用爆彈ヲ投彈ス邀撃戰果被害調査中ナルモ被害極限ヲ輕微ナル見
込

四夜戰九機ヲ以テ南方海空二五〇哩圏内ヲ黎明索敵攻撃セルモ敵ヲ見ズ
五九六式陸攻七機ヲ以テ二十日夜間沖繩周邊敵部隊夜間攻撃ハ一部飛行
場攻撃セルモ戰果不明未歸還二機
六昨二十日夜來夜間哨戒實施中大艇ハ〇一〇〇頃南大東島ノ北方九〇哩

四二二 受信二三三二三 譯了二三、〇三三〇 電一八八六八 彙通
譯始二三四八

作戰緊急

聯合艦隊司令部

五航空艦隊司令部

機密第二一一一五一一〇番電

宛 聯合艦隊參謀長

(通信諜報)

昨二十日午後以來米太平洋艦隊長官機動部隊指揮官及沖繩方面各指揮
官間通信活潑ニシテ異狀ヲ呈シアリシ處本日午前機動部隊ニ對スル指
令情報電報特ニ多シ我が第四水作戦ノ企圖ヲ察知セシ爲チリヤ又
ハ他ノ原因ニ依ルモノナリヤ不明ナルモ敵機動部隊ノ行動ニ對シ警戒
ノ要アリ

通一三四四三 呂二Bケ七一 B (GFP) 岩佐一雨 谷

4-21 4980

20

19